

持経宿改築・屋根全面葺き替えと内・外板壁張り作業

◇実施日：平成27年6月20日(土)～22日(月)

◇参加者：棟梁；木下嘉彦、大工；浦東 進、大工；中村良也、

大工；岩口芳樹、大工；岩口勝秀。山上皓一郎、

川島 功。以上7名は2泊3日。

1泊2日；梶野照雄(20～21日)。前田 正(21～22日)

村吉光夫(220～23日)。以上3名。

20日・日帰り；沖崎吉信、児嶋道夫、畑林秀味、

21日・日帰り；沖崎吉信、畑林清子、生熊敏男。

22日・日帰り；玉岡憲明、畑林秀味、玉岡 明、

橋本 梓。計18名・延20名。

6月20日(水) 曇時々薄日のち小雨

16日～18日にかけて玄関側の土台・柱・軒桁の取替作業が行われ、最終日は風雨の中、室内板壁等の作業を終え帰宅の際、大工さんの軽トラが始動しないハプニングにより、19時頃に帰宅したとの連絡があった。

昨日、沖崎宅に立寄った後、山上夫妻に労いに訪ねていると、沖崎氏から「明日20日～22日に屋根全面葺き替え作業をする」と棟梁から今連絡があり、3～4人位の作業を手伝う人がいる、バッテリー充電を依頼した児嶋さんには、軽トラの故障が直せそうなので是非参加して欲しいとの事。急な事で2・3人に電話連絡すると、梶野氏、前田氏が参加して下さる事になり、食料の段取り等の手配は沖崎氏に任せる。

日帰り・児嶋、宿泊・川島は、それぞれ自車で発つ。途中、山上さんから前回15リガソリンで燃料切れになったことから、ガソリン10リ追加積込みの確認電話がある。

新宮・熊野市辺りは、薄日の空模様であったが、白谷トンネルを抜けると曇天で雨が降りそうである。白谷林道ゲートで池原スポーツ公園にて車中泊した梶野氏と合流し、9時10分頃に持経宿へ。延長軒桁に張られたブルーシートには、雨水が溜り、下から木片で持ち上げると思わぬ箇所から雨水が飛び散り、児嶋氏の頭上に雨水がかかる。
約10分遅れて木下棟梁と応援大工さん4人(浦東、中村、岩口親子)が到着。
薄日が差し込みそうな明るい曇天になり、前側のトタン屋根撤去(棟梁・中村)と後側にピケ足場組立班にわかれて作業。



屋根の傘釘抜き



剥ぐったトタン運搬



軽トラ点検中



ルーフィング剥ぎ



裏のピケ足場組立



ベニヤの野地板剥ぎ

屋根撤去に伴い煤などの汚れが落下のため、室内の毛布などの移動と大工道具などにブルーシートを被せる。
 梶野・川島は、屋根トタンの傘釘抜きを手伝った後、剥し落とされたトタン・ルーフィングを林道口に運搬、その後、ベニヤの野地板が剥がされ不動堂裏に貯め置く。その間、児嶋氏は、軽トラの故障箇所をさぐるが、故障原因がわからなかった。
 11時頃から雨が降りそうな曇天になり、ピケ足場組立を止め、大工全員が煤けた胴縁、垂木撤去作業に加わり、梶野氏は大工さん達の作業支援、山上・川島は落とされた胴縁、垂木を不動堂前に集めて釘抜きをする。



胴縁、垂木撤去中



新規垂木設置準備



垂木打付け中



軒先広小舞打ち



玄関の柱受け



昼食の大工さん

新しい垂木は、3寸角と太く、垂木間(芯く芯40cm)も狭く、垂木に相シヤクリ杉・野地板(玄関の軒下は桧)が張られ、頑丈な屋根造りに改築された。
 夕食調達の沖崎さん達が12時過ぎに到着。新規垂木の打付けが13時過ぎに終わり一段落したので、遅い昼食になる。
 野地板が打付けられルーフィングが敷かれ、垂木に沿ってフェルト押さえ木が打たれる



野地板張り略完了!



ルーフィング敷き



フェルト押さえ木打つ



午後の休憩



棟トタン被せ中



不動堂のトタン剥れ

15時過ぎの休憩後、寒気団の南下で天候が急変し小雨が降り出す。旧棟トタンを被せて、これで雨が降っても心配なしだ。
 その後、ピケ足場組立が再開されると、不動堂のトタン1枚が

剥がれ飛んでいるので見に来いよ！登り確認する。

この際、不動堂の屋根トタン葺き替えを追加しようとしていたが、剥ぐると雨漏りがどの程度進行しているかが問題だ。17時半過ぎに作業終了。

夕食は、オードブルが2皿あり、食べ切れない。20時過ぎにトレランの若者が、深仙宿で青木氏から雷注意報が出ていると1時間強の足止めを強いられたと入宿。

残った料理と混ぜご飯を提供すると大喜びで、明日、本宮17時前のバス乗るので早朝に発つと直ぐに寝る。

6月21日(日) 雨のち曇り一時小雨

夕食後から本格的な雨になるも雨漏りの心配が無い。夜半にはトタン屋根を叩く雨音に熟睡出来なかったが、トレランの若者が雨が降る中、2時に立出で行ったとのこと。

食。パン・餡パンの朝食。卓上コンロで網を載せ焼くが焦げすぎ、2枚焼くとダメだ・・・の音が飛び交う。



後側・ベニヤ野地板剥ぎ 上げた垂木・野地板 三叉路の廃材置場

雨なら内壁板張りとの事であったが、雨が上がり後側の屋根葺き替え作業となる。昨日と同じ段取りで宿内にブルーシート被せ、屋根部材が撤去され、新規垂木、野地板が屋根上と下で手渡して上げる。

新宮8時に発った日帰り組4人(沖崎、生熊、前田、畑林遣)が応援に来る。沖崎氏持参の掃除機で梶野氏が、桁・梁に付着した

数十年ぶりの煤などを吸い取る。沖崎・生熊・川島は、胴縁・垂木の釘を抜き、軽トラで三叉路に設けた廃材・廃トタン仮置場に積み置く。

後側屋根の新規垂木・野示板が打付けられ12時前に昼食。

昨日の夕食・豆ご飯の残りを昼食に食べて頂いたため、大江さん手作りの混ぜ御飯は、お櫃に入れてあり、かなりの量がある事から、明日朝食がパン食なので、昼食の混ぜ御飯は余るので、明日の参加者には昼食持って来なくとも良いと連絡する事になった。



後側の野地板張り

昼食中

屋根胴縁打ち完了

休憩後、ルーフィングが敷かれフェルト押さえ木に胴縁が前側・後側屋根に打付けられ、これまでよりも厚く、広い破風板が、屋根両サイドに棟梁・浦東大工さんにより据付けられる。

後3m・前4mの特注トタン(厚さ0.4mm)は、傷が付かないようにリング上に載せ軒先に立て持たせかけるのだが、前田・梶野・川島の3人掛かりで立てるが兎に角重い。

この間に沖崎・生熊氏は、林道途中に倒木があり、明日大工さんの車回収に来るトラックに支障無い様に伐採処理へ。前田・川島は、不動堂屋根の飛んで無い箇所を廃トタンを切

り被せる作業をするが、滑り易く前田氏に命綱を付けさせトタンを打ち付けた。

山上・畑林さんが夕食の鍋材料の野菜等の下準備。休憩後、記念撮影をして15時半頃に日帰り組と梶野氏が下山。梶野氏に代わり前田氏が泊まって作業して下さる。



両屋根に胴縁打ち完了 21日参加者記念撮影 屋根葺き替え略完了
休憩後、小雨模様になったが屋根トタンが載せられ傘釘で止められた。後側は、滑るので安全上最低限の傘釘が打たれた。
17時過ぎに作業終了。夕食は鍋料理だが、昨日は余ったの
に今日の肉が少ない・・・が美味しい。しめにラーメンが入る。
屋根葺き替えが、略完了した事であり、いつもの唄も出て盛り
上がり21時前に就寝。

6月22日(月) 晴のち薄曇

久しぶりの朝焼けの太陽の光が差し込む中で目覚める。

朝食は、パン食でなく予想外の全員混ぜ御飯になる。

7時過ぎに夜勤上げの村吉さんが到着。今夏、腐朽した太古ノ
辻の案内標識を取替る為、クスノキに彫った標識を玉岡御大に
見て貰うと持って来られる。又、玉岡さん揮毫の持経宿名を彫
って掲示する箇所確認に来られる。

7時半頃から昨日安全上打ち残した箇所の尾根トタンに傘釘

が打たれ、最後の棟トタン、両サイドの水切りが浦東さんによ
って仕上げられる。傘釘を打ち終えた大工さん達は、外壁トタ
ンの重ね部の傘釘以外は抜く作業で川島・前田も手伝う。
裏側だけの外壁トタン換えだったが、窓設置、現炊事場と薪
小屋が入れ変わるとの事から、裏側・両側共に外壁トタンが交
換される様だ。そうなると外観が一新される事になる。



朝食は混ぜ御飯

トタン屋根の棟・両サイドに水切り設置

10時過ぎに、日帰り組(玉岡親子、畑林秀、橋本)と故障の大
工車の回収運搬にホンダのトラックが同行して来る。

こんな林道を走り車回収とは・・・予想外で驚かされている。

その後大工さんは、棟梁の采配の下で内板壁と外板壁張りに
わかれて作業される。

橋本・畑林秀、玉岡明・前田氏は、桁・梁の雑巾拭き作業をさ
れ明るく綺麗になる。

11時頃に奈良森林管理事務所・下北山森林事務所の岩元
猛森林官が、持経宿奥の林道工事視察に通りかかり、持経宿改
築を見学に立寄られる。

玉岡相談役から小屋前側の林道斜面は、雪庇状態でこれ以上
進行しない工事をして欲しいと要望し、川島も加わり現場案内
をする。

明日、小森所長以下幹部は、間伐材作業と池郷林道工事の視

察に来られるので、持経宿の改築見学と林道斜面の状況を説明し工事要望を伝えるとのこと。出来れば誰か説明に立会って頂けないかと言われる。3日居て下山するので困っていると、村吉氏が宿泊し説明して下さる事になる。

12時すぎに昼食となる。予想に反して朝食に混ぜ御飯を食べたので、昼食の混ぜご飯は、8人分しかなく、今日の参加者に弁当要らないと連絡したので・・・が二人弁当持参して来られパン食もあったが、全員御飯になり安堵する。

午後、焼却炉でベニや・木片など焼却するが、風向きが悪く前側・室内に流れ込み、やむなく中止する。



煤けた梁の雑巾拭き 外板壁打付け作業中 22日参加者記念撮影

15半前に発電機が、短時間に2回停止し、エンジンが始動しなくなり作業終了。

休憩後、全員で記念撮影し、明日の所長視察時に持経宿前斜面の工事を説明・要望して下さる村吉氏を残し、16時頃に帰宅。

翌日、所長以下6名が、持経宿に立寄られ、改築に感心され、斜面工事の要望を説明したら「工事は2段階にするか」などと話されており工事をして下さる雰囲気であった。

池郷視察後、持経宿に戻り昼食され、コーヒ接待したと村吉氏から報告がある。

(記 川島)